



あゆみ

No. 142
平成30年 6月15日
編集発行：茶山寮・第二茶山寮
天草市本町下河内 680
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766
FAX 0969-22-5090

「行ってきたよ
天草花しょうぶ祭り」



『人権のための支援』

施設長 鮎田 一夫

しつとりと湿気を含んだ空気は、寮の周りの緑をより艶やかに見せてくれています。うつとうしい梅雨ですが、日本の自然や生活の営みには不可欠でもあります。自然界に無駄なものは一つもないと改めて思います。

さて、当施設では年二回講師を招いて人権研修を行っています。先日その一回目がありません。学校長や県同和対策課長等を歴任された方です。教育畑の方ですが人権についての造詣が深く、大変考えさせられるお話でした。

私達が「人権」と聞いて浮かんでくるイメージは、「虐待」「いじめ」など人権を侵害するという行為の方が多いと思うのですが、そもそも「人権」とは「人が人として尊重され、より幸せな生活を送る権利」ということですから、プラスのイメージもあるはずなのです。ですが私達が「利用者の人権を守る」というときには「虐待をしてはならない」「利用者の意思に反することをしてはならない」という「べからず集」の方に、どうしても気持ちに向いてしまっているのではないのでしょうか。しかし、講師の先生は、昨年度当施設で作成した事例

研究集の中から例を引かれ「人権のための・・・」とはどういうことか話されました。例に挙げたAさんは入所当時体重が百キロを超えていたので自分で立つこともできずADLは極めて低い状況でした。なので、適正体重に戻すことを目標に支援が始まりました。カロリー計算をした食事の提供、食事時間になると興奮する癖を直すためのさまざまな試み、それらを実践し評価しさらに次の実践に繋げる。こういうことそのものがAさんの人権を守ることに繋がる、あなたたちはAさんの人権のためにこういうことをしているんですよと言葉は目から鱗でした。同時に今していることを自分達が肯定することができて自信に繋がりました。最後に先生は「この人にどうなつて欲しいか」という目標を具体的に掲げて支援をしていくことが大切だと話されましたが、これは個別支援計画そのものです。つまり私達は人権の理念に沿って仕事をしていることとなります。

「人権」という言葉を前向きに捉えることができ、仕事の視野が広がった気がします。職員一同これからも切磋琢磨しながら支援の中身を向上させていきたいと思えます。

サービスの現場より



『事務所より』

事務局長 和田 茂樹

平成二九年度の事業報告、決算等につきましては五月十六日の監事監査に続き、二七日の理事会においてその他の議案「社会福祉充実計画」、「ホームページの構成」と併せて検討、承認を頂きました。決算につきましては、社会福祉充実残額が生じたことから、社会福祉事業における設備整備及びサービスの質の向上を図るための人材の雇入れ事業を計画、理事会で確認後、公認会計士に事業費が福祉充実計画において整合性があるか、充実残額が事務処理上基準に照らして算出され適正であるかの確認後、五月二十九日付けで結果報告書を作成して頂きました。今後は六月十六日の評議員会で事業報告、決算と併せて議案を諮り、所轄庁へ事業の申請を行うこととなります。承認後は計画に基づく事業実施となりますので、詳細計画につきましてはホームページで公開させて頂きます。またHPの内容につきましても他の法人を参考に理事会で検討して頂き、啓明会について、情報公開、ニュース・広報誌、ご意見、ご相談等の項目で掲載することとなりました。六月中旬以降啓明会で検索して頂きますと「天草Webの駅」のページからご覧いただけます。これまでの広報誌「あゆみ」も地域行政区長様等との懇談会でご意見をいただき、エリアを拡大し三百五十部を配布することとなりました。電子開示システム(ワムネット)と併せて、今後とも情報公開の充実に努めて参ります。



『ホール見守り支援』

支援課長補佐 金森 健

荅山寮では余暇時間を居室で

過ごされている方もおられますが、ホールで過ごされる方も多くいらっしゃいます。歩行状態や病気により、視野内見守りや所在確認のために、ホールで過ごしてもらっている方もおられます。ホールでは、ほとんどの方がテレビやDVDを観て過ごされていますが、自分の好きな塗り絵をしたり、編み物をしたりと自由に過ごしていただいています。現在荅山寮では十八歳〜八四歳までの方が生活されています。当然年齢により行動の違いがあり、若い人は飛んだり跳ねたりして動き回る方もいれば、高齢の方は車椅子や歩行器を使用して移動されます。自分で歩いても介助が必要な方もおられます。その方達が一緒に生活をされていますのでヒヤリとすることも多々あります。それを、班会議にてKYT(危険予知トレーニング)に挙げ、事故にならないように対策を行っていきます。例えば、リクライニング車椅子はどうしても場所を取ってしまいます。そこを若い方が走り回られますので、衝突の危険性がありました。運営会議で検討しホールのカーペットを移動して、車椅子の後ろのスペースを広くし、衝突をしないようにしたりしています。ホールは多くの方が過ごされているので、事故やヒヤリハットが一番多い場所です。それを未然に防ぐために、ホール見守りの重要性を全職員で再確認しています。



『読み聞かせ会』

支援員 濱 睦史

今年度より毎月第一火曜日に

ボランティアの方を招き、読み聞かせ会を実施しています。荅山寮、第二荅山寮の利用者の方々、職員を含め毎回表現力豊かなボランティアの方の読み聞かせに聞き入ってしまっています。

読み聞かせの時間は利用者の方にとっては「聞く」時間。沢山の聞く時間を設けることで、利用者の方たちの中には「人の話を聞くチカラ」や「聞いた事をイメージするチカラ」が育っていきます。また聞いている間は登場人物になりきり、想像上の世界を疑似体験します。登場人物の感情に触れることで、他人の痛みや思いを知るきっかけとなり、こうした体験は感受性豊かな心を育てることに繋がっていくと感じています。聞くことは最終的には「聞く」だけにとどまらず、相手に伝わるよう話しをする能力にも繋がっていきます。絵本で聞いた言い回しや登場人物の言葉を真似する内に、話す言葉がどんどん増えていたり、知らなかった知識を手に入れ、物知りになることもあります。このように読み聞かせは、とても多くの効果をもたらしてくれます。しかし、何より大切なことは、私達職員も一緒に絵本の読み聞かせを楽しみ、読み聞かせを通して温かい空間、時間を利用者の方たちと共有することだと思えます。



『福祉職員キャリアパス』

中堅職員コースに参加して

支援員 江崎 琢磨

今回の研修では中堅職員としての在り方や、社会人として学ぶことの意義を教えてくださいました。

「学ぶ↓気づく↓描く↓変わる」ことを意識的に実践し、その学んだことを仕事の場で役立て、仕事の進め方や利用者サービスのある方を変えていくこと、実践に役立てることが社会人として学ぶことの意義であり、組織の一員として果たすべき役割と使命を正しく理解し、達成に向けて行動を起こすことが、中堅職員としての在り方であると学んできました。

自分に出ることは何なのか、何が必要なのか、振り返ることで見えてくるものをつかりと捉え、強み・弱みを理解することで、次に起こすべき行動は何かを想像し、自身を高めていけるように努めなければならないと感じました。

今回の研修を活かし、利用者さんが必要とするサービスを確実・適切に提供できる職員を目指していきたいと思えます。ありがとうございます。



『防犯防災意見交換会』

統括防火管理者 山口 智史

五月七日、天草地区施設職員合同研修会で防犯防災に対する意見交換会が実施されました。天草地区の九施設の各担当者が集まり初めて行われた研修で、防犯への取り組み、防犯訓練の実施状況及び方法、津波・災害時の避難場所、避難対応、備蓄品の保管場所（賞味期限が近い食品についての使用方法）、地震発生時の職員召集レベル、連絡方法の七つのテーマで意見交換を行いました。

茶山寮、第二茶山寮では、防災事業計画に基づき啓明会・総合防災訓練や不審者対応訓練、ミサイル対応訓練、各月の避難訓練を実施しています。他施設の防災防犯についての話しを聞く機会はなかなか無いことで、各施設の避難訓練の実施状況や防犯カメラが設置してある施設、実際に不審者が来た事があるなどの話しを聞く事ができました。又、不審者対応訓練に参加させて欲しいという話しも頂き、とても有意義な研修会でした。この研修会を通して防犯防災に如何に力を入れ各訓練を実施することが大切か、再確認をする事が出来ました。実際に火災や災害がおきてしまった時、利用者の皆さんが、怪我無く落ち着いて避難出来るように、又、職員も訓練を実施する事で利用者の皆さんの安全を確保し、避難誘導が出来るようにして行きたいと考えています。



『調理サークル』

栄養士 高辻 啓太

本年度も四月から前期の調理サークルが始まりました。今年度は茶山寮から三名、第二茶山寮から三名の合計六名で活動をしています。昨年は五名での活動でしたので今年是一名増えた分さらに難しい料理や難しい技術取得など高い目標を設定しながらも楽しく活動ができていければと思っています。

五月十八日に前期第二回調理サークルを実施しました。今回はサークルメンバーのリクエストメニューということで、メンチカツとロールキャベツを作りました。昨年からは引き続き参加されている方、今年度初めて参加される方、様々ですが調理が好きなメンバーばかりですので、切り方をこだわられたり、味をこだわられたりと、調理実習とはまた違う雰囲気での活動で出来上がった時も、もつと上手に出来たら良かったと反省を口にされたメンバーもいて調理に真剣に取り組んでいたという感じさせられました。

前期の活動は九月までの計六回で最終的には給食のメニューを全て自分たちで作るというのが目標ですので、その目標が達成出来るように精一杯支援していきたいと思えます。

『愛藍ピック』

五月六日

今年も稜南中学校で「愛藍ピック」が開催されました。今回で八日目の開催となります。競技は五種目、苓山寮、第二苓山寮両施設で計六三名の利用者の方々が参加されました。

当日は御家族の方の応援も多数あり、利用者の皆さんもいつも以上にはりきって競技に参加していました。

綱引きでは第二苓山寮がみごと優勝。昨年の雪辱を果たしました。応援も盛り上がり両施設が一つになって声援を送りました。又、天草の他施設の方達とも手を取り笑顔で話す姿も見受けられ良い交流の機会にもなりました。

たくさんのお客様の応援ありがとうございました。



『事業説明会・家族会総会』

四月二二日

例年よりも施設側からの説明を増やし、はじめに、施設側から昨年度の取り組みの概要、今年度の重点目標等経営方針の説明、作業収益、医務、防災からの説明、昨年度受審した第三者評価結果の説明、新人職員紹介等が行われました。これは、第三者評価で家族の皆さん等への情報の提供、周知が足りないと指摘されたことに対する改善策の一つです。その後苓山寮では家族会総会、個別支援計画の説明が行われ、家族会が解散した第二苓山寮では個別支援計画の説明がありました。

また、苓山寮では家族会会長のご提案で二回目となる役員の皆さんと職員との懇親会が催されました。利用者の皆さんの生活を支えていく上で御家族のご協力は不可欠であり、御家族からのこのようなお気持ちは大変ありがたいです。これからも苓山寮、第二苓山寮の御家族の皆様との信頼関係をさらに強く築き上げより良い支援に繋げていきたいと思



【管内買い物】

六月十三日、皆さん待ちに待った年に二回のひらやま衣料品店による管内買い物がありました。

普段なかなか外へ買い物に行く機会が無い方々も、この日を楽しみに随分前からお目当ての物を考えている様でした。職員と相談しながら好みの洋服を選び、「似合ってますよ」の声掛けに満面の笑顔が印象的でした。



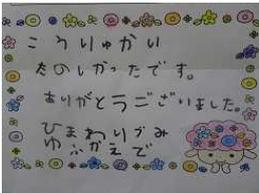
【チャリティーキャラバン】

五月十二日ボランティアでチャリティーキャラバン「つばさ」の演目「はらぺこ坊やホップくん」という人形劇の公演がありました。当施設では十五年ぶり二度目の公演ですが、プロの方々の演技を間近で鑑賞し、歌や的にボールを投げて点数を競うレクリエーションにと皆さんとても楽しまれました。



【東向寺保育園交流会】

今年で三十回目の開催となります。利用者皆さんも毎回楽しみにされている歴史ある会です。最初はやはり緊張は隠せず、手遊びや歌等一緒に行うのを躊躇されていた様子でしたが、時間と共に距離感も縮まってきたいき、園児の皆さんと歌に踊りにと楽しまれ、終始笑顔の絶えない会でした。



【天草花しょうぶ祭り】

西の久保公園にて毎年開催されている「花しょうぶ祭り」は棚田を活かした西日本屈指の花菖蒲園に、二五万本の大輪が優雅に咲き誇ります。そのお祭りに今年も苔山寮より参加させて頂き展示即売会を行いました。アイスコーヒー・ジュース・乾燥椎茸・陶器・手芸品等を利用者の方たちと一緒に販売しました。この季節、雨の日もありましたが、八日間の出店に沢山のお客様にお越し頂きありがとうございました。



きれいな花の前で ハイチーズ(^_^)♪



【新利用者紹介】 宜しくお願ひします

佐藤 友耶さん (四月二日)

松田 直樹さん (五月八日)

苓山寮へ入所されました。若いお二人ですのでこれから色々な事にチャレンジしていきましょう。

【退職職員】 お疲れ様でした

第二苓山寮支援課長 木本隆平さん

五月末をもって退職されました。大変お世話になりました。お身体に気をつけて下さい。

【苓山焼やきもの教室開講式】 四月十四日(土)

第三三回開講式が当施設内の陶芸棟で開催されました。受講者は一般の方々と浄南町老人会南寿会のメンバー二五名程でした。受講者の中には、今年度で二二年目のベテランの方もいらつしやいます。

昭和五九年開窯し、陶芸教室が開講され現在まで途絶える事なく続けられているのは、地域の皆様のお陰だとても感謝しています。

受講者募集には、毎年天草市と地元本町地区の広報誌に受講のお知らせを出させて貰っています。今回も二名の新受講者が入られました。年二十回程開講しますが、施設に足を運んで頂き、地域に根付いた活気ある活動のお手伝いが出来ればと思います。尚、展示会が今年も天草大陶磁器展に合わせて十一月二日～四日の三日間、市民センターで計画されます。是非お立ち寄り下さいますよう、お願い申し上げます。



『優勝祝賀会』

支援員 緒方 俊則

去る五月に行われた愛藍ピックにおいて、みごと優勝を果たした第二苓山寮綱引きチームの祝賀会を行いました。これは大会終了後、利用者自治会において要望があり開催に至りました。

祝賀会では先ず、綱引きに参加したメンバーに皆さんの前で一人一人の紹介と感想を言っていた頂きました。皆さんから大称賛されメンバーの方達は少し緊張していた様子でしたが、あらためて優勝した喜びを実感されていました。そして、ささやかではありましたがビールとお菓子で御祝いをしました。他の皆さんもとても喜ばれておられて「来年も必ず優勝するぞ！」と盛り上がり、楽しい会となりました。又、職員部門の綱引きは二回戦止まりと不甲斐なく「すぐに負けないよう頑張つてほしい、来年はダブル優勝を目指すから死ぬ気で頑張つてほしい」等と利用者さんから厳しい言葉をいただきました、身の引き締まる思いでした。このような利用者さんからの要望については、今後も大切にし、利用者さんの生活が豊かになるよう可能な限り実践できるように頑張つていきたいと思ひます。



へ行事予定へ

六月 十九日 家族交流会

二六日 ミサイル対応訓練

七月 九日 不審者対応訓練

十一日 亀川小学校福祉説明会

二五日 啓明会夏祭り

八月 四日 天草ハイヤ

道中総踊り



へ編集後記へ

皆さんはご存じでしょうか？

スポーツ選手は、何かを達成すると両手を挙げ喜びを表現しますよね。一説によれば、このガッツポーズを朝から二分間やると一日絶好調に過ごせることが出来るそうです。

私たちは心が元気ないと猫背になりがちですが、ガッツポーズをとることで、やる気ホルモン値が上がります。逆に、落ち込んだポーズはストレスホルモンが増え、心が弱くなって行きます。

雨の日続きのこのシーズン。気分が冴えない時ほど、ガッツポーズをとって絶好調で乗り切りましょう！

